

がん患者さんへの理学療法士の関わり

当院はがん診療連携推進病院として、がんの診断、治療や患者さんにご家族の苦しみを和らげる緩和ケアに力を入れています。

理学療法士も様々な場面でがん患者さんに関わっています。



呼吸機能に対する手術前の呼吸理学療法

手術後の肺炎など呼吸器合併症予防のため
手術前の禁煙指導、呼吸練習、運動指導など
を行います。

がん手術後の理学療法

手術後、早期の自宅退院が可能となるように、
歩行練習、日常生活動作練習などを行います。



化学療法中、放射線治療中の理学療法

治療に伴う活動性低下を予防し、筋力や
歩行能力の維持、向上を図ります。



骨盤底筋に対する理学療法

前立腺がん手術後に起こる尿漏れに対して、
骨盤底筋運動、生活指導を行います。



リンパ浮腫に対する理学療法

がん治療に伴う、うでやあしのリンパ浮腫に
対してマッサージ、生活指導などを行います。

緩和ケア

患者さんのご家族の苦しみを和らげ、
その人らしく生活できるようにサポートします。



私たち理学療法士が
より良い生活が送れる
ようにサポートします